

## 長瀬会場質疑応答

令和2年10月9日（金）19時

住民

13ページの5年間の料金収入が121億円となっており、また、参考資料の方では設備投資の金額が1年間で30億円超であり、5年間で150億円超えてしまう状況。支出と収入の数字が合わない。その点が気になる。

もう1点、5年後に見直しがあるということだが、どのように見直すのか。おそらく5年経つと破綻してしまう。その際、また料金の値上がりが行われるのではないかと心配である。

水道局

料金収入における13ページの121億円の算出方法は、全体の費用146億円の予想必要額に対して、料金収入を予想し算出した額が121億円である。相対的な費用から料金とする内容が全体の121億円が必要となるということで算出した方法である。

事業費の部分で資本費用の資産維持費は、全体の資産の中で必要な未来の建設改良等を含めた費用の0.25%をこの費用の中に加算している。未来に投資すべき資産の必要な建設改良等の工事費をこの割合の中で計上しており、積み上げ出したイメージである。そのため必ずしも建設改良の、所謂工事費全体枠との相違がある形の内容ではない。ご理解いただきたい。

もう1点今後の料金改定について。5年毎に料金改定の進める方法で経営審議会でも決定している。今回の算定期間は令和3年～7年でどのくらいの事業費等が必要でどれくらい費用がかかるか。その費用は146億円。その中で必要な収入の想定金額を差し引いた部分が121億円。この部分を料金に変えると218円になる。そのため平均改定率は現在と比べると17.91%になる。

次の5年後である令和8年～13年において、収入等の見込みについては経営審議会で提供した資料の中で今回と同様程度の費用が必要と考えられる。今回と同じように料金改定が必要になる状況であると思われる。今後料金収入、費用の増減によって料金改定率は変わる。現時点では5年後も同様な料金改定率が見込まれる。

住民

理解できない。

収入が121億円なのは間違いないか。事業費5年間の費用は150億超える。収入と支出の数字が理解できない。補助金や起債の影響があってその数字になっているのか、よく分からない。収入イコール支出になるはず。しかし設備投資が上回っている。どうして事業が成り立っているのか。

水道局

事業費全体の部分と料金改定率の想定している収入を対比すると差額が出てしまう。しかし、全体事業費は料金改定の計算式において一部を費用として見込んで

いる。そのあたり詳しい内容になる。詳細な説明が必要であれば改めて。  
収入と費用全体を見ると、質問のとおり数字に差額が出ているのは事実。料金改定するのに全体事業費の部分は一部しか算入されていない。そのあたりを理解していただくために別で説明させていただくことも可能。

住民

予定ということで理解したらよいか。

水道局

その通り。

- 以上 -